

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	スタッフワークショップ4	
科目基礎情報					
開設学科	演劇スタッフ科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時限数	240時限
単位数	8単位			授業形態	実習
教科書/教材	必要時、資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。教材、機材は教室内のものを使用する。				
担当教員情報					
担当教員	森岡重樹・寺嶋陽子・山本浩二・鶴巻一弘・山田岳史			実務経験の有無・職種	有・舞台スタッフ
学習目的					
業界での仕事を意識し、実践的にスタッフワークを学ぶ。後期はじめの文化祭にてより実践的なスタッフワークを行う。一年生と共に実習していく時間も増えるため、学生が安全衛生に気を配り、スタッフワークの流れを理解し指示も出せるようになる。先輩という意識づけ。年度末の卒業公演に向け円滑なスタッフワークが行えるよう実習に取り組む。各セッションだけでなく、全体の流にも気を配り、公演の準備から撤収までを実習する。					
到達目標					
前期より継続し、分野別のスタッフワークを基礎から応用へと繋ぎ、本番公演を行うことにより実践力を身に付ける。本格的に社会にでて協働することを具体的に思い、業界のルールや作法を落とし込む。社会にできれば新人としてのスタートとなるが数年のけいけんを積んだのち後輩の育成に助力しなければならないということを念頭に置き、一年生とのグループワークを行う中でコミュニケーション能力も高める。各学生の希望に沿った進路決定が目標。					
教育方法等					
授業概要	進んだ業界での仕事内容を研究し、沿ったスタッフワークを実習し落とし込む。本格的な公演（卒業公演）が控えるため、準備や打ち合わせも重要な時間となる。スタッフワークとして準備、調べ、製作、仕込み本番と一連の流れを体験。				
注意点	各学生の二年間の集大成であることを忘れない。社会にでて協働するということを、強く意識して実習にのぞむ。同時に就職活動も行わなければならない。体調管理に気をつける。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	実習課題	40%	各セッションの実習を、落とし込んでいるか。課題を総合的に評価する		
	平常点	60%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。出席率も反映される		
授業計画（1週～15週）					
	授業内容		各回の到達目標		
1週（2回）	中間発表プランニング		中間発表公演スケジュールを立てる		
2週（2回）	中間発表仕込み準備		中間発表仕込み準備、仕込みスケジュール、資材準備		
3週（2回）	中間発表仕込み		中間発表の仕込みを行う		
4週（2回）	中間発表稽古		中間発表テクニカルリハーサル、通し稽古		
5週（2回）	中間発表本番		中間発表仕込み・本番・撤収		
6週（2回）	中間発表全体合評会		中間発表振り返りと卒業公演に向けて		
7週（2回）	中間発表コース別合評会		セッション別の振り返り、卒業公演に向けて		
8週（2回）	卒業公演台本解釈		作品のリサーチ、台本解釈		
9週（2回）	卒業公演打ち合わせ		デザイン打ち合わせ・稽古立ち合い・公演スケジュール作成		
10週（2回）	卒業公演準備スケジュール管理		卒業公演公演各セッションプラン作成		
11週（2回）	卒業公演準備		卒業公演各セッション準備		
12週（2回）	卒業公演稽古		卒業公演稽古、大道具・小道具製作、演出家の確認		
13週（2回）	卒業公演直し作業		演出家との打ち合わせ、各セッション修正・確認		
14週（2回）	卒業公演最終確認		卒業公演最終打ち合わせ		
15週（2回）	卒業公演本番		卒業公演仕込み・リハーサル・本番・撤収・合評会		